

# せいわにし 学校だより

令和7年9月1日（月）

伊賀市立成和西小学校 No. 15

伊賀市大内624番地

<http://www.iga.ed.jp/seiwanishi-e/>

## 全国学力・学習状況調査（6年生）の結果と考察

4月17日（木）に実施した全国学力学習状況調査の結果について報告します。

国語、算数、理科の全教科で「全国と比べて上回っている」という結果でした。学習状況調査に向けて、6年生の子どもたちが、毎日の学習をしっかりとがんばってきた成果だと思います。また、楽しくわかる授業づくりに努めるとともに、子どもたちが互いのすてきなところ、がんばっているところを見つけることで、一人一人の自尊心を高める活動をしてきたことが学習意欲の向上につながり、今回の結果につながったと考えます。

また、ご家庭においても「家庭学習強化週間」「生活・読書習慣チェックカード」の取組へのご協力をはじめとして、お子さんが家庭学習をするときに励ましの声かけをしていただいたことが、学力向上を下支えする大きな力となっています。いつもご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。

学力向上のためには、1年生から6年生まで切れ目のない学力の積み上げが大切です。引き続き学力向上に向けて基礎基本の定着と既習内容の復習に力を入れるとともに、授業の改善、指導方法や教材・教具の工夫、タブレットPC等のICT機器の効果的な活用法について研究を深めることで、児童一人一人の学習意欲を高め、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を伸ばす取組をさらに進めていきたいと考えます。

### ◆国語科

（全体の内容について）

- ・「書くこと」の力がついている。
- ・「話すこと・聞くこと」「読むこと」の力をつけたい。

（問題の内容について）

#### ①力がついているところ

- ・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考える。
- ・漢字を文の中で正しく使う。
- ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く。

### 1 学力調査結果から



- ・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容を捉える。
- ・目的に応じて、文章と図表を結び付けるなどして必要な情報を見付ける。

## ② 力をつけたいところ

- ・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解して使う。
- ・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に考え、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する。

## ◆算数科

### (全体の内容について)

- ・「数と計算」「測定」「変化と関係」「データの活用」の力がついている。
- ・「図形」の力をつけたい。

### (問題の内容について)

## ① 力がついているところ

- ・棒グラフから、項目間の関係を読み取る。
- ・簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶ。
- ・示された資料から必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算する。
- ・平行四辺形の性質を基にコンパスを使って平行四辺形を作図する。
- ・角の大きさについて理解している。
- ・小数の加法 ( $0.4 + 0.05$ ) について、整数の加法で考えるときの共通する単位を書く。
- ・数直線上に示された数を分数で書く。
- ・異分母の分数の加法の計算 ( $1/2 \div 1/3$ ) をする。
- ・伴って変わる二つの数量の関係に着目して、問題を解決するために必要な数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述する。
- ・はかりのめもりを読む。

## ② 力をつけたいところ

- ・目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する。
- ・台形の意味や性質について理解する。
- ・五角形の面積を求めるために五角形を二つの図形に分割し、それぞれの図形の面積の求め方を書く。
- ・「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表す。

## ◆理科

### (全体の内容について)

- ・「地球」の内容の力がついている。
- ・「エネルギー」「粒子」「生命」の内容の力をつけたい。



もんだい ないよう  
(問題の内容について)

ちから  
① 力がついているところ

- ・土の粒の大きさによる水のしみこみ方の違いについて、結果を基に結論を導いた理由を表現する。
- ・電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わること理解している。
- ・乾電池のつなぎ方について、直列つなぎについての知識が身についている。
- ・ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身についている。
- ・水の温まり方について、問題に対するまとめを導き出す際、解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討して記述する。
- ・水が氷に変わる温度を根拠に、オホーツク海の水の面積が減少した理由を予想し、表現する。
- ・氷が溶けてできた水が海に流れていくことの理由について、学習したことと関連づけて理解している。

② 力をつけたいところ

- ・身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることを理解する。
- ・電気の回路のつくり方について、実験の方法を発想し、表現する。
- ・顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身につける。
- ・発芽するために必要な条件について、実験の条件を制限した解決の方法を考えて記述する。
- ・レタスの種子の発芽の条件について、共通点や違う点を基に新たな問題を見いだして記述する。
- ・水の蒸発について、温度によって水の状態が変化することを理解する。

がくしゅうじょうきょうちょうさ じどうしつもんし  
2 学習状況調査の児童質問紙から



ぜんこく くら わりあい たか ないよう  
(全国に比べて割合が高くなっている内容)

質問内容		全国との差
1	朝食を毎日食べている。	+6.3
2	自分には、よいところがあると思う。	+13.1
3	先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う。	+7.8
4	将来の夢や目標をもっている。	+9.8
5	人が困っているときは、進んで助けている。	+6.3
6	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。	+2.8
7	人の役に立つ人間になりたいと思う。	+3.6
8	学校に行くのは楽しいと思う。	+6.3

9	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。	+0.5
10	友だち関係に満足している。	+8.3
11	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることが多い。	+7.0
12	これまでの生活の中で、自然の中で遊び自然観察をした。	+12.3
13	地域の大人に授業や放課後などで、勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりした。	+3.5
14	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。	+11.5
15	PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成することができる。	+3.9
16	インターネットを使って情報を収集できる。	+10.2
17	PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理する。	+2.1
18	5年生までの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、分からないことがあった時に、すぐ調べることができた。	+3.6
19	5年生までの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、楽しみながら学習を進めることができた。	+7.4
20	5年生までの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる。	+11.9
21	5年生までの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができた。	+8.1
22	5年生までの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、友だちと考えを共有したり比べたりしやすくなった。	+8.3
23	5年生までの学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、友だちと協力しながら学習を進めることができた。	+12.5
24	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表した。	+2.8
25	5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた。	+2.3
26	学級の友だちとの話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている。	+0.8
27	授業で学んだことを次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりする。	+10.4
28	先生は、授業やテストでまちがえたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれる。	+12.6
29	授業や学校生活では、友だちや周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。	+0.2
30	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。	+10.4
31	学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。	+2.4
32	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。	+2.4

3 3	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。	+4. 9
3 4	国語の授業の内容は、よく分かる。	+10. 1
3 5	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。	+9. 6
3 6	国語の授業で、先生は、自分の良いところや前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれる。	+7. 5
3 7	国語の授業で、先生は、自分の学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれる。	+3. 1
3 8	国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いている。	+3. 9
3 9	国語の授業で、目的に応じて説明的な文章を読み、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけている。	+6. 6
4 0	算数の授業の内容は、よく分かる。	+0. 3
4 1	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。	+1. 2
4 2	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できている。	+9. 5
4 3	算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える。	+8. 4
4 4	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。	+5. 9
4 5	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用している。	+8. 2
4 6	理科の授業では、観察や実験をよく行っている。	+0. 5
4 7	理科の授業で観察や実験の結果から、どのようなことがわかったのか考えている。	+4. 5
4 8	理科の授業で観察や実験の進め方や考え方がまちがっていないかをふり返って考えている。	+9. 7
4 9	健康にすごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを普段の生活の中で役立てている。	+12. 9

( 全国に比べて割合が低くなっている内容 )

質問内容	全国との差
1 わからないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫している。	-3. 1
2 読書は好きである。	-26. 9
3 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいた。	-8. 9
4 学習した内容について、わかった点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。	-0. 8



## 【 成 果 】

### ①学力の向上

「国語の授業の内容はよく分かる」「算数の問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える」「理科の授業で観察や実験の進め方や考え方がまちがっていないかをふり返って考えている」などの項目は、全国平均を上回っています。また、「授業で学んだことを次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりする」「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」については、全国平均を上回っています。これは、児童が授業に前向きに取り組み、学習への意欲が、たいへん高い結果と考えます。

そして、15～24の「5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器の活用」の項目についても全国平均を上回っています。これは、タブレットPCなどのICT機器を授業や家庭で積極的に活用したことによる成果だと考えます。

### ②人権・同和教育の充実

「自分にはよいところがある」「先生は自分のよいところを認めてくれていると思う」「人が困っているときは、進んで助けている」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」などの項目が、全国平均を上回っています。これは、本校の人権教育カリキュラムに基づく人権教育や、お互いのいいところやがんばっているところを見つけ合うなどの仲間づくりに関わる取り組みがうまく機能し、自分の考えを安心して発表でき、友だち関係が良好であることを表していると考えます。

### ③キャリア教育の推進

「将来の夢や目標をもっている」「人の役に立つ人間になりたいと思う」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」などの項目が、全国平均を上回っています。このことから、子どもたちは自分の目標をもち、自分たちの生活をより良くするために話し合う力や自分がすべきことを理解して、自主的に行動する力がついてきていると考えます。

## 【2学期以降の取組について】

- 学習規律を再度見直し、音読、漢字、計算練習など、基礎・基本の定着に力を入れる。
- 学力調査結果から、定着が弱いところを中心に、前年度及び1学期の既習事項を復習する。
- 「めあて（その授業で何を学ぶのか、何ができるようになるのか）」と「ふり返り（何がわかったのか、どこがわからないのか、もっと知りたいことなど）」を充実する。
- ペア・グループ学習やタブレットPCなどのICT機器を有効に活用し、教材・教具を工夫することで、お互いに学び合い学習意欲を高める指導方法を推進する。
- 「学viva!、ワークシート（三重県教育委員会作成）」を使って復習する。
- 家庭学習と家庭読書をさらに充実させる家庭学習強化週間に取り組む。

